

第 56 回

初めての往査

受験生の皆さん、こんにちは。
J1 の N です。今回は、会計士の
仕事の醍醐味でもある往査につ
いてお話ししたいと思います。



皆さんは、往査にどのようなイメージを持たれるでしょうか。IT 技術の発達が目覚ましい現代において、書類は電子化され、気になることがあれば電話やメールで解決できます。そのため、わざわざクライアント先に行く必要があるのだろうかという疑問に思っていた時期もありました。

しかし、実際に往査に行ってみて、J1 なりに導いた答えは、円滑な人間関係の構築だと感じました。会計論点について話すこともありますが、日常の雑談を話すことも多いです。いくら受験勉強や仕事で会計・監

査の知識を吸収しても、コミュニケーションこそ会計・監査で一番大事な項目であると感じた瞬間でした。質問や資料請求をする際にどれだけ円滑な人間関係を構築できているかがその後の作業の進捗を分けると言っても過言ではないと思います。実際に膝と膝を突き合わせて話すことの重要性を感じました。

さて、往査に行くことの重要性を感じられたところで、往査の楽しみは、やはりお昼ごはんです。クライアント先近くの美味しいお店に行くことや、クライアント内の食堂を利用することができるのも会計士の特権です！それと、ここだけの話、J1の時は、先輩がご馳走してくれる機会も多いですよ！



そろそろお時間のようです。初めて往査に行く際は、私も緊張でいっぱいでしたが、先輩方が優しくフォローしてくださいますから心配は不要です。皆さんと一緒に往査できるのを楽しみにしております！

